

滋賀県に緊急事態宣言



新型コロナから子どもたちを守れ

米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局 藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

新学期、感染拡大のおそれ

このような中、学校では新学期が始まり、多くの保護者が心配しています。すでに米原市内の放課後児童クラブでは感染者が発生しており、米原小学校では登校日を延期する事態となっています。今回の新型コロナウイルスはほとんどが「デルタ株」に変異しており非常に強力な感染力を持っています。子ども達は症状が軽いか無症状の子どもも多くいる状況ですが、一定人数子どもの重症化例も観られる他家族内での感染が心配されます。65歳以上の高齢者のほぼ90%はワクチンを接種を完了しています。65歳未満の接種はこれからです(別表1)。

子どもの権利を守る

昨年2月、安倍政権は専門家の意見を聞かず、突然一方的に全国一律の休校措置を強行しました。子ども達や家庭に与えた影響は計り知れないと言わざるを得ません。子どもたちの「学ぶ権利」と「命と健康を守る権利」の両立が求められています。しかし緊急事態宣言下で大変厳しい対応が求められます。

感染防止のあらゆる措置を

学校職員等はワクチン接種は進んでいると聞いていますが、子どもたちのワクチン接種がどうなっているのか。そもそも11歳以下の子ども達はワクチンは打てません。学校では、あらゆる

8月8日から滋賀県はまん延防止措置が適用されていたが24日三日月知事はコロナ病床の使用率が89・7%となり国に対して緊急事態宣言を要請したとのことです。国では8月27日から来月9月12日まで8つの道府県のひとつとして緊急事態宣言を発令するとしています。しかしいつになればピークアウトの見込みは立っていません。

る感染防止措置が求められています。マスクや手洗い、黙食など原則的な対応、教室内の消毒、また教室の換気等も重要と言われています。このような作業については教師の負担を軽減させるための支援員の配置が必要で、また分散登校なども前回実施されています。オンライン授業も積極的に、とり入れる必要があります。が、昼間両親がいない家の中での小学生には難しいと思います。

検査体制の充実を

その中で重要なのが検査体制です。新型コロナウイルス感染者が学校で発生した場合、濃厚接触者だけでなくクラス、学年、学校単位でしっかりと検査を実施し、学校内での感染状況を把握することが必要です。PCR検査がもっとも確実ですが、いずれにしても検査体制の確立が強く求められます。

市議会9月定例会日程決まる

現在の議員構成での最後の定例会日程が決まりました。コロナ禍でしっかりと議論が求められます。そのためには市民の多くの傍聴が必要です。

PCR検査との違いは下の表をご覧ください。

検査種類	抗原定性検査	抗原定量検査	PCR検査
○検べるもの	ウイルスを検出するたんぱく質(抗原)	ウイルスを検出するたんぱく質(抗原)	ウイルスを特徴づける遺伝子配列
○精度	検出には、一定以上のウイルス量が必要	抗原定性検査より少ない量のウイルスを検出できる	抗原定性検査より少ない量のウイルスを検出できる
○検査実施場所	検体採取場所へ実施	検体を検査機関へ搬送して実施	検体を検査機関へ搬送して実施
○判定時間	約30分	約30分+検査機関への搬送時間	数時間+検査機関への搬送時間

(検査に関する厚労省資料)

(別表1) 接種率 (8月23日現在、 ※は8月17日現在)	1回接種	2回接種
滋賀県(人口比)	45.2%	34.5%
米原市(人口比)	45.9%	33.4%
滋賀県65歳以上	92.0%	90.3%
※米原市65歳以上	87.1%	81.3%



9月2日10時	本会議開会
7・8日9時30分	一般質問
10日9時30分	産建常任委
13日9時30分	総教常任委
14日9時30分	健福常任委
16・17・21日9時30分	決算特別委
24日9時30分	予算常任委
29日10時15分	最終日

雑感

菅内閣はオリンピッククについてパラリンピックも強行開催しています。特に許せないのは、現代の学徒動員と言われる学校連携観戦を強行していることです。東京都の教育委員4人は反対しましたが教育長の判断で強行実施されたとのこと。また区によっては参加しない区もありパラバの状況です。任意参加とのことでも多くの保護者が不安視しています。子どもたちが行きたいと思うことは当然ですが、参加しないと決めた子どもに対する仲間外れ等が起らないか。また多くの学校行事が中止される中でパラ観戦。矛盾そのものである。こんな菅内閣、東京都・千葉県等も許せない。